

主よ、人間とは何ものなのでしょう

あなたがこれに親しまれるとは。

人の子とは何ものなのでしょう

あなたが思いやってくださるとは。

— 聖書のうた (詩編 144 編 3 節) —



2012. 9
 (通巻第58号)
 発行犬: ス又校長



秋休みをつくる会の会長と副会長



宇宙の歴史は、百三十七億年、だそうです。
 想像もつかないその時間の中で、
 わたしたちが生きているのはほんの小さな一瞬なのに、
 創り主である神さまは
 わたしたち一人一人を神さまの子どもとし、
 神さまに気づく心を与えてくださり、
 心の中の喜びも悲しみも、
 悩みも苦しみもすべてご存じで、
 わたしたちの祈りを聞いてくださいます。

わたしたちは、いつどんな時でも、
 そのままの姿で神さまに愛されています。
 神さまは、そのように
 わたしたちを創られたからです。



年		間	
30	目	2	目
29	土	8	土
28	金	9	日
23	目	10	月
21	金	14	金
16	日	16	日
14	金	21	金
10	月	23	日
9	日	29	土
8	土	30	日
2	目		
年間第26主日 緑		年間第22主日 緑	
年間第25主日 緑		年間第21主日 緑	
年間第24主日 緑		年間第20主日 緑	
年間第19主日 緑		年間第18主日 緑	
年間第17主日 緑		年間第16主日 緑	
年間第15主日 緑		年間第14主日 緑	
年間第13主日 緑		年間第12主日 緑	
年間第11主日 緑		年間第10主日 緑	
年間第9主日 緑		年間第8主日 緑	
年間第7主日 緑		年間第6主日 緑	
年間第5主日 緑		年間第4主日 緑	
年間第3主日 緑		年間第2主日 緑	
年間第1主日 緑		年間第0主日 緑	

9月、きょうかいと
 がっこう
 きょうかい
 がっこう

9月、きょうかいと
 がっこう



きょうかいがっこう + ここの木 (中庭生) の木
 夏の休み企画

8/25 (主) 夕涼み会!

スズ校長と
 かいめしぬまの

西日の差す聖堂で

ミサ
 ミサはみんなが神さまの子どもとして
 参りていけるのです。
 みんなが互いに支えあっています。

八月廿二日の土曜日は、恒例となった夕涼み会! ミサにBBQ (お肉増量!)、お楽しみゲームに花火、森一幸助祭をスペシャルゲストに、楽しいひとときを過ごしました。



朗読は、大田ささきさん。
 聖書の教えをわかりやすい言葉にして読んでくれました。



侍者はベテラン水野佑樹くんがつとめました。

森助祭も、お話ししてくださいました。



みんなの目に見えない心遣い、みんなの思いが目に見える形になるのです。

なんと! 聖堂までお休み

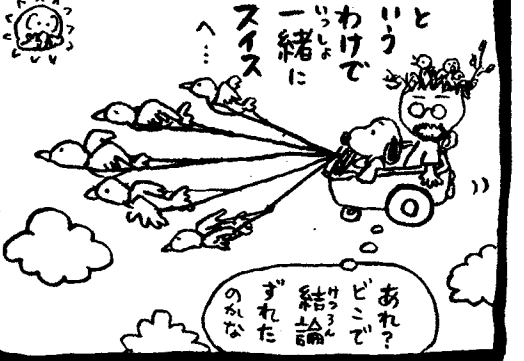


この思いを感謝しましょ。



こうした会をひらくには準備がいろいろあります

スズ校長とかいめしぬまの不在のいきさつ



TIMETABLE

4:30	教会集合。ミサの準備
5:00	こころひとつにミサ!
6:00	楽しいゲーム♪ with リサお姉ちゃん
6:30	BBQ いただきます!!
7:40	わいわい花火 + おい焼 BBQ
8:00	終わりの祈りと祝福、そんらぬ参加賞!!
8:30	解散

おとなは、まだしばらく盛り上がりたみたい。

福者、前教皇ヨハネパウロ二世ってどんなひと?

16



あふれる才能とやさしい笑顔、そしていつもユーモアをこねずに
すべてに全力投球だったカロール。ヴォイティワ枢機卿(のちのヨハネパウロ二世教皇)の
しかし、ポーランドの人々にとって何より印象深かったのは、カロールが示す
力強い信仰、恐れずに福音を生きるその次女でした。

ポーランドは、当時
ソ連という強国の指導
で、共産主義の国づくり
をしていました。
共産主義の人たちは
すべての人を
平等にします
あなたたちの幸せは
政府が計画し
保証しましょう
と、一見よいことを言うの
ですが、
だから政府のいう
ことをききなさい
聖書なんか読みな
教会はウソつきた
神なんていない
と、神さまから離れるように

人々に勧めていま
共産主義はソ連を
中心に世界中に広
まり、
宗教なんて迷信。
科学の時代には
共産主義こそ
ふさわしい
などと言う人がたくさん
いたのです。
ソ連にいちばん近かった
ポーランドは大変で、
司教
さまが
逮捕され
てしまった
キリス
ト教
に
教育は
禁止
だ
って
...というように、

教会は政府からの
妨害をたくさん受け
ていたのです。
しかし
ポーランド
の教会には
一千年の歴史
がある
その
一千年の
カ
ソ連からの
共産主義と
戦っていたのね
カロールはこの全
ポーランドの教会の
守り手でした。





このとき計画されていたのは故・フロンド枢機卿さまの帰天25周年記念ミサでした。第2次世界大戦中の1940年、ナチスドイツによるユダヤ人迫害や教会への迫害を、パパン放送のラジオで世界に報告、1944年にナチス秘密警察に逮捕されたフロンド枢機卿は、戦争終結後は共産主義による教会迫害に抵抗、信仰と勇気で人々に敬愛されたが、共産党政府にとっては思い出したくない人でした。



今年も侍者と給仕のつとめ

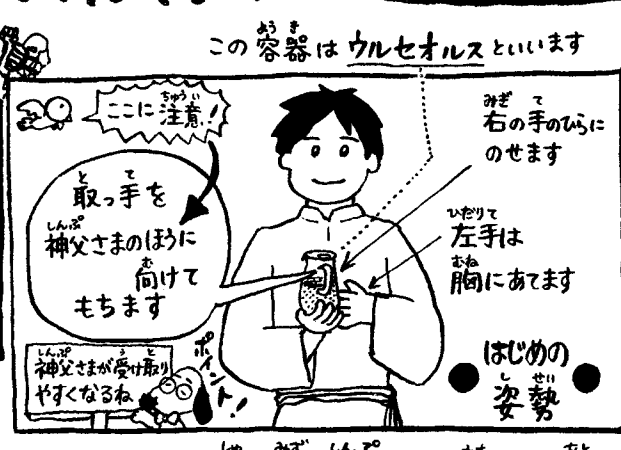
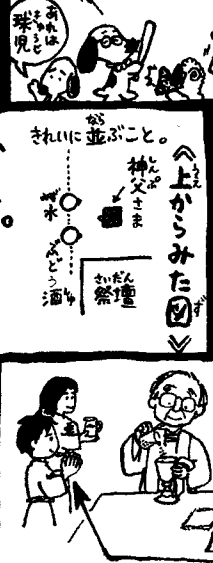


立つ位置と並びかた

ぶどう酒をもつ人が右、水をもつ人が左です。

神父さまから見ると、左にぶどう酒、右に水。

ポイント！
神父さまの手の動作が左→右に流れるようにするのだよ。



ポイント！侍者は、主役ではありません。奉仕者です。

神父さまがパンを供える祈りをささげるとき、侍者は、ぶどう酒と水を支度し、給仕します。

神父さまは、まずぶどう酒をカリスに入れます。それから水を、静かに祈りながら足します。

『この水とぶどう酒の神秘によって、人となられたかたの神性にあずかることができますように。』

ウルセオルスを静かに台に戻したら、……

ぶどう酒と水の給仕が両方すんだら、2人そろって神父さまに一礼します。



水の鉢(ペルグリス)が右、手拭い(マテリジウム)が左で、きれいに並ぶ。

清めの祈りがすんだら、2人そろって神父さまに一礼します。

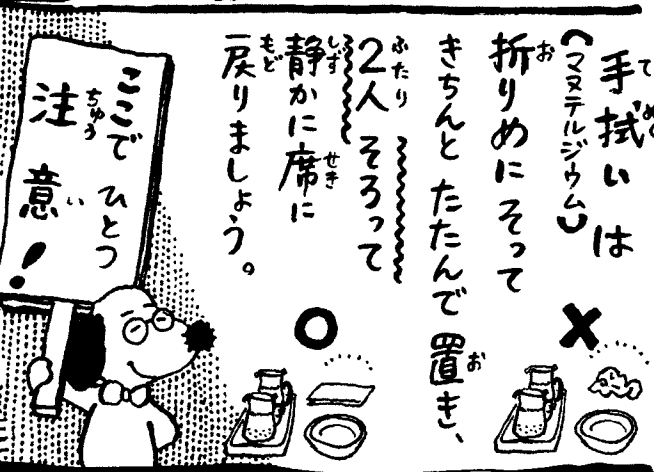


次は、清めの祈り「ラヴァーボ」です。神父さまは静かに祈りながら、手を洗います。神よ、わたしの汚れを洗い、罪から清めてください。

まだ席に戻らないうちに、次のお祈りが始まって、あわてないこと。一歩一歩落ちて着いて、静かに席に戻りましょう。

決して走ってはいけません！

では、また10月号で



山田耕柁によるメロデーとともに、だれもが知っているこの詩ですが、これがトラピスト修道院の
 窓辺で書かれたことは、あまり知られていません。三木露風(1889-1964)は兵庫県生まれの
 詩人です。北海道のトラピスト修道院に、日本文学の講義を依頼されて数年を過ごす間、
 窓辺に赤とんぼを見つけ、祖父に育てられた故郷の光景を懐しんで作詩。その翌年、露風は
 修道院でカトリックの洗礼を受けました。ちなみに「姐や」とはお姉さんではなく、子守の女中さん。

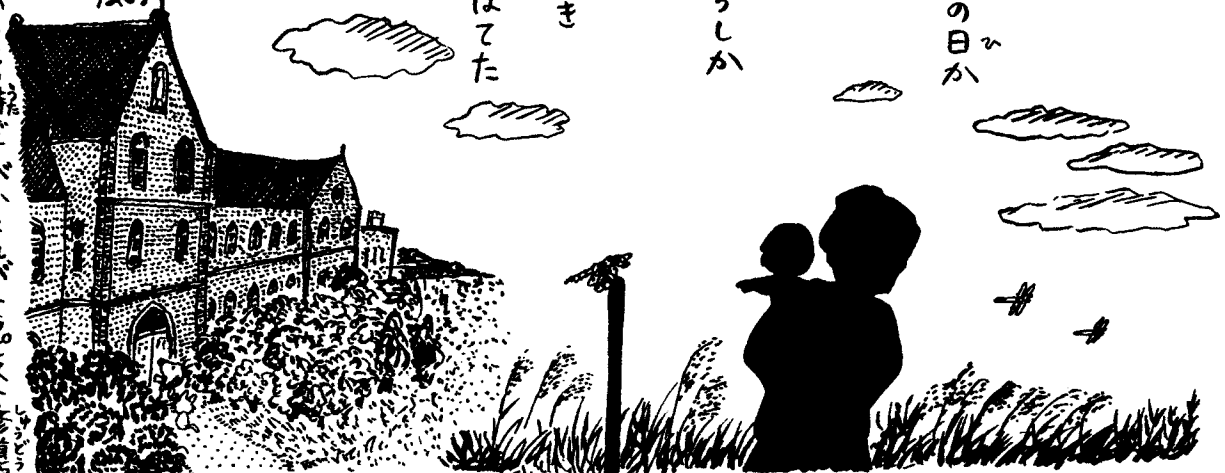
三木露風

夕焼小焼の、赤とんぼ
 とまっているよ、竿の先

十五で姐やは、嫁に行き
 お里のたよりも、絶えはてた

山の畑の、粟の実を
 小籠に摘んだは、まぼろしか

夕焼小焼の、赤とんぼ
 負われて見たのは、いつの日か



厳律シトー会 灯台の聖母トラピスト大修道院
 (北海道・北斗市。当別修道院と呼ぶこともあります)

7ページ 聖書クイズの解説

- 「タリタ・コム」は、イエスさまが実際に
おしゃべりしたアラム語で、「少女よ、起きなさい」
の意味。マルコ5章41節にみられるよ。
- 「フィアット」は「[そのおに] なりますように」という意味
のラテン語です。ルカ1章38節のマリアさまの
言葉や、主の祈りのラテン語訳にみられます。
- 「マラナ・タ」というアラム語は、初代教会の
人々の集いで、あいつのように使われました。
- 「ナマステ」は、インドのあいさつ。二人にまほ
にも、さようならにも。サンスクリット語です

今日のクマ

本を読むのが
大好きです

みんなどんな本を
よんでいるのか
おしえてね



熊本名: イヨマンテ熊

甲どうぶつ宣教会ではほんの読書家、女の子です。11~2月くらいまで
冬眠しますが、それ以外はたいいてい何か読んでいます。
イエスさまの本と本が大好き。ちなみに「くまりん」も女の子ですが別モノです。



イエスのカリタス修道女会より、お祝い
ニコラ・パレの会場は
9月29日(土) 午後3時~
 ・お祝いあわせ Sr 松山つるえ
 ・もしも 03-3396-2171
 ニコラ・パレ kankull@m-caritas.jp

お救済きようかい
カトリック萩聖教会 〒168-0072 杉並区高井戸東4-18-13
 主任司祭... 岸忠雄神父 主日のミサ... 7:30~/10:00~
きょうかいかん ... 毎月 第1・第2・第3日曜
 10時のミサ終了後
<http://www.kotonanoki.com/>

ふいふい、ようやく発行にこぎつけました。9月号。
 かいぬしの海外出張が8月後半でありまして、
 しかも帰国後の時差ぼけ。月末なのに原稿は
 まるまる、又又校長はあせてま。という感じでした。
 夕涼み会レポート、写真提供 みなさんありがとう